



2026 年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 袴 田 武 史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 兼 事業統括 野 崎 順 平
エ グ ゼ ク テ ィ ブ
(TEL. 03-6277-6451)

Argo Space 社とのミッション 2.5 に関する打上げ契約に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 17 日付の取締役会決議において、当社の米国連結子会社である ispace technologies U.S., inc. (以下「ispace-U.S.」) が、当社グループが計画するミッション 2.5 に関して、Argo Space 社 (以下「Argo 社」) と月周回衛星の打上げに係る契約を締結することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 本契約の概要

(1) 契約先	Argo Space Corp.
(2) 契約締結日 (決議日)	2026 年 9 月 17 日
(3) 対象ミッション	ミッション 2.5
(4) 打上げ予定時期	最速で 2027 年
(5) 対象機体	月周回通信衛星 1 基 (アルパイン)
(6) 契約金額	非開示※
(7) 費用計上時期	最速で 2027 年

※Argo 社との守秘義務により金額については非開示とさせていただきます。

2. ミッション 2.5 の概要

当社は、米国を中心としたグローバルな月面開発の加速や、安全保障上の月の重要性の高まりをうけ、今後シスルナ領域 (地球と月の間の宇宙空間) における通信・測位の需要や、SSA (宇宙状況把握)・観測等の需要拡大を見込んでおり、それぞれルナ・コネクタサービスおよびデータサービスの提供を計画しております。

当該計画において ispace-U.S. は、現在米国で開発中の月周回通信衛星「アルパイン」を、新ミッション 3 に先行するミッション 2.5 として最速 2027 年に打ち上げる予定です。なお、当該月周回衛星は、元は 2027 年打上予定であった旧 CP-12 ミッションで使用する予定であったものです。ミッション 2.5 の実施により、当社はシスルナ空間における通信サービスを提供し、本格的なルナ・コネクタサービスの展開を目指します。また、当該月周回衛星を用いた SSA (宇宙状況把握) の技術的・事業的な実証を進め、安全保障・防衛上のニーズにも対応することを目指してまいります。

3. Argo 社の概要

Argo 社は、米国カリフォルニア州に本拠を置く、宇宙空間における軌道間輸送（In-Space Transportation）を提供する宇宙ベンチャーであり、地球周回軌道から月周回軌道を含むシスルナ空間での輸送サービスの開発を行っております。当社はルナ・コネクトサービスの早期開始に向け、月周回軌道への効率的かつ早期の輸送手段の確保を検討しておりましたが、今般、Argo 社が開発する軌道間輸送システムが月周回軌道への衛星投入を目的とした当社 Mission 2.5 の要求仕様との親和性が高いと判断し、同社との契約締結を決定いたしました。

4. 今後の見通し

本契約により当社は本格的なルナ・コネクトサービスの展開を目指し、2030 年までに月周回軌道上に最低 5 基の衛星を展開することを計画しております。今後、当社は月周回衛星の輸送にあたり、自社の月着陸船（ランダー）や軌道間輸送機（OTV）に加え、Argo 社が提供するような第三者の輸送サービスを含む、多様な輸送手段を活用する予定です。また、本件の費用計上は打上げが実施される来期以降と見込んでいるため、2027 年 3 月期の通期連結業績予想に与える影響はありません。なお、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合は、速やかに開示いたします。

以上